

山中教授、京都を走る

マラソン挑戦 研究費寄付募る



山中伸弥所長

「京都マラソンの完走に挑戦します。応援してくれる方は寄付を」。京都大教授でiPS細胞研究所(CiRA)の山中伸弥所長がこう呼びかけたところ、9日朝までの約3週間に620人以上から寄せられ、金額は660万円を突破した。目標額も当初の50万円から1千万円に増額し、さらなる支援をお願いしている。

CiRAは、再生医療への応用が期待されるiPS細胞の研究拠点。人件費など運営費の多くを国からの科学研究費でまかなっている。

るが、今後も続く保証はなく、2014年度以降のめどはたっていない。

山中さんによると、優秀な人材が将来への不安から流出する問題が起きているという。そこで3年前に寄付を募る研究基金を設け、11日の京都マラソンでも寄付を募ることにした。

山中さんはこれまで4回のフルマラソンで完走している。しかし、今回はなぜか体調を崩し、練習のしすぎで足を痛めた。それでも完走に挑む。「一日も早いiPS細胞技術の医療応用を実現するために、一般の方々にご支援をお願いしています」としている。寄付はサイト(<http://justgiving.jp/c/7882>)から。

(鍛冶信太郎)